

第2回 適性検査型入試 解答例

【適性検査Ⅰ】

問1 サンゴに共生する褐虫藻が、海水温の上昇などの原因で離れ、サンゴが白色に変化する現象。

問2 豊さの定義を、量の多少から質の多様性へと変える。

問3 サンゴが死に絶えると、サンゴ礁にすむたくさんの種類の生物も失われるということ。

問4 電灯のスイッチをこまめに消す。

冷蔵庫の開け閉めの回数を減らす。 など

問5 二酸化炭素を排出しない原子力による発電量が減少し、二酸化炭素を排出する火力による発電量が増加したから。

問6

発展途上国が経済的に豊かになるには、自然を開発するのがもっとも簡単だ。先進国もそのようにして経済的に発展してきた。しかし、それではサンゴの白化現象の例のように生物多様性が失われてしまう。逆に、生物多様性を守ろうとすれば、発展途上国は自然を開発して経済的に豊かになることはできない。

では、発展途上国が生物多様性を守りながら経済的に発展するためにはどうすればいいのか。私は、オーストラリアのグレートバリアリーフの例のように、自然を観光資源とした経済発展を目指したい。発展途上国には豊かな自然が残されていることが多い。もちろん先進国からの支援は必要だが、観光地としての魅力はアピールできると思う。豊かな自然を保護し、先進国から観光客を呼び込むことで経済的発展を望めるのではないだろうか。